

報道関係各位

2014年12月17日

## “地盤事故ゼロ”実現のための、土質が分かる地盤調査方法が好評 「SDS<sup>®</sup>試験」の実績が累計10万件を突破

戸建住宅の地盤調査、建物検査を手掛けるジャパンホームシールド株式会社(所在地：東京都墨田区、代表取締役社長：齊藤 武司)は、2010年10月より提供開始した次世代の地盤調査方法「スクリュードライバーサウンディング試験(以下、SDS<sup>®</sup>試験)」の実施件数が累計10万件を突破しました。



SDS 試験は、地盤事故ゼロを目指して開発された地盤調査方法です。現在主流のスウェーデン式サウンディング試験(SWS 試験)では、地盤がどんな土で構成されているか、音や感触を頼りに判別しています。SDS 試験はこれらに加え、回転トルク値などのデータなどを総合して分析することで、より正確な土質判断ができるようになりました。SDS 試験は、小型の調査機を用いるため、大掛かりな試験機を必要とするボーリング調査に匹敵する高精度ながら、コストを低く抑えられるのも大きな特長です。



SDS 試験による地盤調査風景

こうした利点が評価され、SDS 試験は 2010 年の提供開始以来、着実に実績を積み重ねてきました。採用実績は、2013 年 3 月に実績 3 万件、その後 12 ヶ月で倍増し 2014 年 3 月には 7 万件、そして 2014 年 11 月時点で 10 万件に到達し、急増しています。また、優良な住宅部品の認定を行う一般財団法人ベターリビングより「先端建設技術・技術審査証明」を取得するなど、公的機関にも有用性が認められています。

災害対策の一環として地盤に対する関心が高まっていることを受け、ジャパンホームシールドでは今後、正確な土質判定ができる SDS 試験の社会的役割はさらに大きくなると考えています。今後も優れた地盤調査技術を通じて、世界中の人々の安全・安心な住まいづくりに貢献していきます。

### 本件に関するお問い合わせ先

ジャパンホームシールド株式会社 ( <http://www.j-shield.co.jp/> )

本社：東京都墨田区両国 2-10-14 両国シティコア 17F

報道関係の方から：事業推進室 児新 (コニイ)

TEL. 03 - 5624 - 1545

※このリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお届けし、ジャパンホームシールド (URL: <http://www.j-shield.co.jp/>) ならびに LIXIL (URL: <http://www.lixil.co.jp/>) のホームページでも発表しています。  
 <ジャパンホームシールドは株式会社 LIXIL の子会社です>

<参考資料>

■ SDS 試験の歩み

2006年6月	研究スタート
2010年10月	提供スタート
2011年2月	「SDS 試験装置」で（一財）ベターリビングより「建築技術審査証明」取得（BL 審査証明-008）
2013年3月	実績 3 万件突破
2013年7月	ニュージーランド・オークランド大学と共同研究を開始
2013年12月	「SDS 試験による地盤調査結果の活用技術」で（一財）ベターリビングより「先端建設技術・技術審査証明」取得（BL 審査証明-011）
2014年4月	実績 7 万件突破
2014年11月	実績 10 万件突破

■ SDS 試験の特許登録

特許番号	登録日	発明名称
4705520	2011/3/18	貫入試験方法
5291329	2013/6/14	貫入試験方法
5320081	2013/7/19	貫入試験方法
5173731	2013/1/11	貫入ロッド、並びにこれを用いた貫入試験機及び貫入試験方法
5385771	2013/10/11	貫入ロッド

特許権者：ジャパンホームシールド(株)、末政 直晃（東京都市大学）、日東精工(株)